

第 47 回 関東実業団対抗テニストーナメント大会 (ビジナル関東大会) 試合結果報告書

2008/7/21(月)

本田技術研究所 男子

記 木村 寛

大会概要

- ・主 催 関東テニス協会
- ・主 管 埼玉県テニス協会
- ・協 賛 ブリヂストンスポーツ株式会社
- ・運営協力 株式会社スポ - ツブランドウ
- ・期 日 平成 19 年 7 月 19 日 (土)・20 日 (日)
- ・会 場 埼玉県狭山市智光山公園 テニスコート
サ - フェイス : 砂入り人工芝 (16 面)
- ・チ - ム 編 成 (1)登録選手は、男女共、5 名以上 9 名以内
(2)部長、監督、マネ - ジャ - は、選手を兼務できる
- ・試合形式 (1)男子 16 チーム、女子 8 チームによるトーナメント戦
(2)コンソレーションにより順位決定戦を行う
- ・試合順序 原則として、D 2 ・ D 1 ・ S の順序
- ・試 合 (1)男女とも、複 2 試合及び単 1 試合による対抗戦
(2)単複に重複出場はできず
(3)8 ゲームズプロセットマッチ
(4)ノーアドバンテージスコアリング方式
(5)1 回戦は、原則として全試合を行う
但し、対抗戦勝敗決定後はメンバー変更を認る
2 回戦以降は、勝敗決定後打ち切
- ・大会運営委員
 - 運営委員長 益子 和夫 (関東実業団委員長)
 - 運営副委員長 花木内敬雄 (関東実業団副委員長・神奈川委員)
 - ディレクター 井上 憲紀 (関東実業団埼玉委員)
 - アシスタントディレクター 権守 仁彦 (関東実業団副委員長・栃木委員)
井上 晋 (埼玉県実業団委員)
 - レフェリー 鎌田 隆久 (埼玉県実業団委員)
 - アシスタントレフェリー 市川 秀樹 (埼玉県実業団委員)
 - 運営委員 長谷川英男 (関東実業団委員)

中込 利人（関東実業団委員）
以倉 正樹（関東実業団委員）
柴田 光（関東実業団茨城委員）
寺田 隆（関東実業団東京委員）
鎌田 健義（関東実業団山梨委員）
近藤 孝司（関東実業団千葉委員）
萩原 裕（関東実業団群馬委員）
石田 和美（埼玉県実業団委員）
大附 博美（埼玉県実業団委員）
岡田 悦子（埼玉県実業団委員）
小野 智弘（埼玉県実業団委員）
勝屋 宏一（埼玉県実業団委員）
小杉 司（埼玉県実業団委員）
鷺池 美和（埼玉県実業団委員）
多胡 友之（埼玉県実業団委員）
中田 真一（埼玉県実業団委員）
守屋 邦生（埼玉県実業団委員）

出場選手

1．部長	木村 寛
2．監督	木村 寛
3．マネージャー	吉村 雄太
4．選手	相田 哲志
	木村 寛
	今野 辰次郎
	篠崎 昭治
	萩原 優幸
	吉村 雄太

試合結果

12位 全国大会出場を逃す。

記録

本戦 1R

vs 川口市役所 埼玉県

D2 篠崎 5- 浅井
今野 鈴木

D1 吉村 1- 輿石
相田 堀江

S 木村 3- 春原

地力で上回る相手に、作戦と若手の勢いでどこまで食い下がるかと期待していたものの、やはり壁は厚く、敗戦となりました。強者との対戦で、各自、不足していることが明らかになりました。今後を活かしていきたいと思います。

ツル 1R

vs ファナック 山梨県

D2 萩原 -6 森田
吉村 武田

D1 今野 -1 牧
相田 菅原

S 木村 打切り 矢羽田

D 2 は最後まで目が離せない接戦となりましたが、何とか勝ちきり、今大会唯一のチーム勝利に結びつけることができました。

ツル 2R

vs NTT 東日本 千葉県

D2 篠崎 -4 日下部
木村 熊切

D1 今野 6- 船越
相田 横山

S 吉村 2- 斉藤

先に、日本航空が成功していた、ダブルス 2 本を取りきる作戦で挑みました。D 2 を無事勝利し、D 1 も 6-6 と、勝利が見えかけたところで、残念ながら、1 ブレーク差での敗戦となってしまいました。

S は地力で上回る相手ではありませんでしたが、吉村選手が随所に光るプレーを見せて応援を湧かせ、将来に期待を抱かせる試合をしてくれました。

9 ~ 12 位決定戦

vs 原子力機構大洗 茨城県

D2 篠崎 -4 柴田
吉村 吉沼

D1 萩原 1- 加藤
木村 石川

S 相田 8- 米川
(5-)

D 2 は前日の懇親会の勢いそのままに、勝利をおさめることができました。

D 1 は 9 ~ 12 位決定戦とはいえ、対戦相手は基礎的なプレーがしっかりしており、自分たちのペースになかなか持ち込めず、大差での敗戦となってしまいました。

S はマッチポイントも握る大接戦で、誰もが勝利を期待しましたが、残念ながら、ポイント毎に相手から繰り出される、狙い澄まされたショットに阻まれ、敗戦となってしまいました。しかしながら、相田選手は今年からチームに加わった若手で、将来に期待を持てる非常にいい試合でした。

11 位決定戦

vs 富士ゼノックス 神奈川県

D2 萩原 4- 前田
相田 伊藤

D1 今野 4- 村上
吉村 中川

S 木村 打切り 岡部

最後の試合で、全員が勝利して終わりたいと望みましたが、残念ながら敗戦となりました。

所感

本年度は天候に恵まれ、無事、全日程完了することができました。

結果としては、全国大会出場を逃し、目標を果たせず残念ではありましたが、1Rなどは地力で上回られたものの、その他、入賞チームと比較して、スコアにも表れているとおり、実力は僅差であると感じられました。

クラブ全体の課題であった、若手の台頭もあり、今後につながる良い大会となりました。

この貴重な経験を、クラブや県に持ち帰って、所属団体のレベルアップに活かせればと考えております。

最後に、開催、運営にあたって、ご尽力いただきました関係各位に厚く御礼申し上げます。

